

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス事業所『ひかり』		
○保護者評価実施期間	2024年11月1日		～ 2024年11月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	2024年10月30日		～ 2024年11月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年11月29日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ 隔週でミーティングをしており、各児童の直近の課題や行動傾向などを踏まえた支援が出来ている。	・ 正規職員・非正規職員ともにミーティングに参加することで、細かい部分まで統一認識を形成出来ている。	・ 引き続き同様の対応を続けていく。
2	・ 長期休暇中や土曜営業日には午前午後共に外部に出掛けたり外食など余暇支援にも力を入れている。	・ 利用児への余暇支援や生活訓練という視点以外に保護者の就労支援・レスパイトについて意識して取り組んでいる。	・ 活動内容が固定化しないように新たな活動を取り入れるなどの工夫をしていく方針。
3	・ 法人の規模が大きかったり、人事異動により放デイ事業経験者が他事業所にも在籍している為いざという時には応援を求めやすい。	・ 会議や出張などで事業所職員が不在になる場合に備えて、応援職員の候補を予め決めている。	・ 引き続き同様の対応を続けていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ 制度上で規定されている人員は配置できているが、個別に丁寧な対応をするには人員が足りていない状況である。 (昨年度比で-1名の体制で運営している)	・ 事業所としてというよりも業界全体としての人材不足や制度改正により有資格者しか業務に従事できない事の影響が大きい。	・ 業界団体として制度改正に向けた動きをしたり、アルバイトの雇用などが必要になる。解消しない場合は新規利用希望者の受け入れを見合わせたり現登録者にも利用日の変更などを打診して安心安全を確保していく方針。
2	・ 地域とのつながりの機会や保護者会を組織していない。	・ 特別な活動時に日課の混乱をしてしまう特性の利用児も複数いる事や同一敷地内では入所施設を運営しており感染症対策として外部との関わりを控えている。 また保護者会は放デイ事業の特徴として事業内で短時間しか過ごさない為保護者会の必要性を感じていない。各家庭とのやり取りの中で必要性を感じた事柄については全体への意思確認をする等の配慮はしている。	・ 左記の理由により当面の間は現状の取り組みを継続する方針である。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				利用児童数		回収数	
児童デイサービス事業所『ひかり』		2024年12月12日				13名		12名分	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		
							ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	5	1	0		プレイルームに全員が集まると窮屈ですが、広場や和室などに分散して遊べるので大きな支障はありません。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6	5	1	0		基準は満たしていますが、昨年度比1名減であり手薄にならないように工夫しながら対応しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	1	0	2			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	1	1	1		各所の掃除や加湿空気清浄機、消毒(次亜塩素酸水)等を活用しています。	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	1	0	2			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	0	0	3			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10	0	0	2			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	0	0	1			
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9	0	0	3			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	2	0	2			
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	3	1	3	無回答1名。 交流はなくても良いと思う。	感染症対策以外にも、利用児童の負担にならないように配慮しながら進める予定です。		
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	0	1	0		利用契約時のみの説明になっているので、気になる事があればお問い合わせ下さい。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	0	0	1			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	2	0	4	無回答1名。		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	11	1	0	0			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	2	1	0		求めに応じての助言の他に、事業所が必要と判断した事柄を意見させてもらっています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	2	0	0			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	1	3	2	5	無回答1名。	利用(滞在)時間が少ない事業であり、保護者会は組織していません。今後も保護者会活動の予定はありません。	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	3	0	2				

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	0	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5	2	0	4	無回答1名。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7	1	0	4		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	3	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	3	0	4	無回答1名。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	2	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	2	0	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	0	1	0		何かお気付きの点があればお知らせ下さい。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス事業所『ひかり』				公表日	2024年12月12日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		・室内(2部屋)と屋外(広場遊び、敷地内散歩)により利用児童が密集しないように配慮している。	・雨天時や長期休暇中などは室内に密集してトラブルが多くなる傾向があり過ごし方の改善や利用人数の調整など検討の余地がある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		3	・子どもたちの相性や特性に応じて別行動したり、学校からデイに来所される際に一定数以上の人数になる場合は2台に分乗して一方は時間差で帰所する事で片付け・手洗いなどをスムーズに対応している。	・曜日によって人数や利用児同士の相性などの課題がまちまちであるが昨年度比2名減の体制になっており、マンツーマン対応が難しい。制度上の基準は満たしているが、支援の必要な利用児が多いので常に手薄で丁寧な対応が難しくなっている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3		・ハード面は最低限整えられている。 ・集まり時には必要に応じてイスを使って場所を示したり、スケジュール表など視覚支援を取り入れている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3		・基本的な清掃は毎日、その他に週毎・月毎でマットやスリッパ類の洗浄などを行っている。空気清浄機や加湿器、消毒(次亜塩素酸水)を活用している。 ・空間としては全員が一堂に会すると狭いが複数の部屋に分散できる状況である。	・多動や無断外出対策として窓に補助錠を設定している為、換気が難しい状況である。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		3	・個室の用意までは出来ないが、静かに過ごせる利用児グループが特定の部屋を使用している。例外的に宿題支援などで職員室を開放する事もある。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		・ミーティング以外にも日々の情報共有の中で業務改善につなげています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		・年1回評価表を活用しており、過去には土曜営業日の昼食内容や保護者の就労支援として長期休暇中の受け入れ時間について業務改善している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		・月2回ミーティングを実施している以外にも、少人数での運営であり職場内では常時意見交換できている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3		・現時点では自己評価のみである。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3			・様々な研修会に参加する機会があるが、学校への送迎対応によりやむを得ず途中離席したり、毎回の出席が難しい事もある。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3		・制度改正毎に支援プログラム作成している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3		・日頃から利用児の様子や行動姿容について状況把握・分析・試行錯誤をしている。		

13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		・支援計画の作成時以外にも日頃から、各利用児の特性や変化、必要な支援について意見交換できている。	
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		・個別支援については計画作成、実践共に出来ている。	・事務手続き上、所内での決裁や保護者に同意をもらうタイミングが遅れてしまう事がある。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		・専用のソフトを活用し、年間を通じてアセスメントしている。計画書に関しては今年度途中からは国が示した標準様式に変更している。	
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3		・今年度から始まった取り組みであり、様々な場面で必要な支援を検討しながら支援に当たっている。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3		・ミーティングの活用。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		・日替わり、週替わり、ドライブの方面等について配慮している。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3		・計画内への明記はしていないが、自由遊び・全体活動で対応やルールを分けて取り組んでいる。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		・職員3名での運営の為、統一認識を形成しやすく臨機応変に対応できている。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		・送迎業務の関係上、当日中に振り返りが出来ない場合もあるが、翌日の利用児童受け入れまでには情報共有が出来るようにしている。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		・記録内に特記事項を追記しておき、ミーティングやモニタリング時に対応方法を検討できるように取り組んでいる。	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		・実施している。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3		・実施している。	・地域との交流に関してはコロナの影響や利用児童の負担などを踏まえて見合わせ中。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3		・可能な限り側面的な支援をしたり、行事や活動内容についても利用児の希望を取り入れるなど遣り甲斐を感じられるように配慮している。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		・児童発達支援管理責任者が出席している。	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		・自立支援協議会(発達支援部会)で様々な職種との連携をしている以外に、個別のケース会議などを招集したり参加する事もある。	

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3		・保護者の同意を得て学校配布プリントを拝見・コピーさせてもらっている以外に、学校によっては<マチコミアプリ>への登録をさせてもらっている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3		・必要に応じて就学前の通園先に見学に出向いたり、利用後も助言を求められるような関係作りは出来ている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3		・担当の相談員を経由して対応方法などを伝える準備はしている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3		・ここ最近では外部に助言を求めるような機会はないが、発達支援部会や園域相談員などの連携は出来ている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3		・公園遊びで一緒になった一般の方や他グループと接する際にはルールやマナーを実践できる機会としてとらえている。	・利用児の負担を考慮して意図的に他の期間との関りを設定する事はしていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3		・児童発達支援管理責任者が発達支援部会の委員として参画中。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		・送迎時の他に連絡ノートや電話連絡などにより共通理解に努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3		・家族を対象にしたプログラムや研修会のような形ではないが、個別に必要な情報提供や育児面での助言をさせて頂いている。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		・利用契約時及び、必要時に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		・基本的には集団行動してもらっているが、偏食対応や行事日の参加などについては各家庭に確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3		・実施している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		・必要に応じて情報提供や専門的な立場から助言させてもらっている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3			・滞在時間が学校などに比べると短いため保護者会としては組織しておらず、今後も保護者会活動を進める予定はない。 ・各児童の通学先が複数にわたっており保護者同志の連携はやや薄い状況。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		・法人としての苦情解決事業実施要領や第三者委員会での対応が可能。	

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3		・月末時点で翌月の予定の連絡をしたり、定期的に法人全体の広報紙を作成している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		・法人の個人所法管理規程、管理規則、マニュアルに準じた対応をしている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		・スケジュールの視覚化や集まり時の席順など可能な限り配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		3		・法人全体として感染症対策の一環として外部から人を招くような行事は見合わせている。また児童デイ単体としてはスペースが狭く大きな行事開催は困難である。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		・昨年度までに整備を済ませている。今年度は悪天候や感染症流行時の受け入れに関するマニュアルを作成して各家庭に配布した。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3		・計画作成した上で11月に大規模災害訓練を実施済みである。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3		・必要に応じて健康面や服薬状況は把握している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		・医師から指示を受けているような重度のアレルギー該当者はいないが、軽度のアレルギーの方に関しておやつや弁当提供時には配慮している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		・今年度作成したばかりであるが、各マニュアル同様に必要に応じて今後修正作業もしていく方針である。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		・ケガをした事例や設備の危険箇所などについてヒヤリハット報告書を活用すること安全安心の確保に繋げている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		・法人全体としての研修会など必要な機会は確保できている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3		・現時点で身体拘束が必要なケースはないが、必要時には所内での検討会議や保護者の同意、最低限の対応に留められるような工夫ができるようすべく対応する。	